




公共建築におけるSDGsに応える取組み ～ 歴史的建築の保存と改修① ～

ゴール11	住み続けられるまちづくりを
	ターゲット 11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

「SDGs」とは、2015年9月25日に国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。17のゴールと169のターゲットから構成されます。「歴史的建築の保存と改修」は、ゴール11のターゲット11.4に該当します。



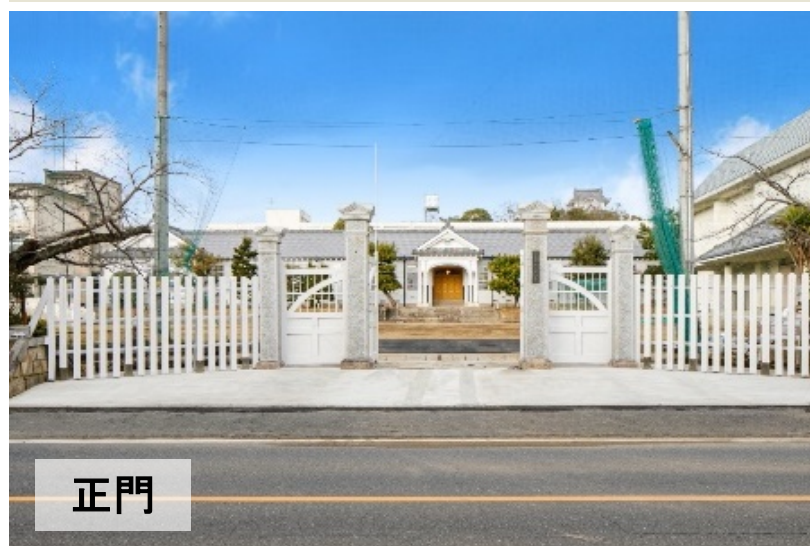
県立上野高等学校「明治校舎(旧三重県第三中学校校舎)」



廊下

明治校舎(旧三重県第三中学校校舎)は、明治33(1900)年7月に完成した木造平屋建の校舎です。設計は、重要文化財 旧三重県庁舎(愛知県犬山市の明治村に移築)などを設計した清水義八氏です。

耐震改修として、耐震補強材の設置、基礎補強、屋根軽量化(瓦葺替)及び正門の耐震補強を行うほか、照明器具のLED化などを行い、同時に文化財としての価値を損なわないための保存改修を行いました。



正門



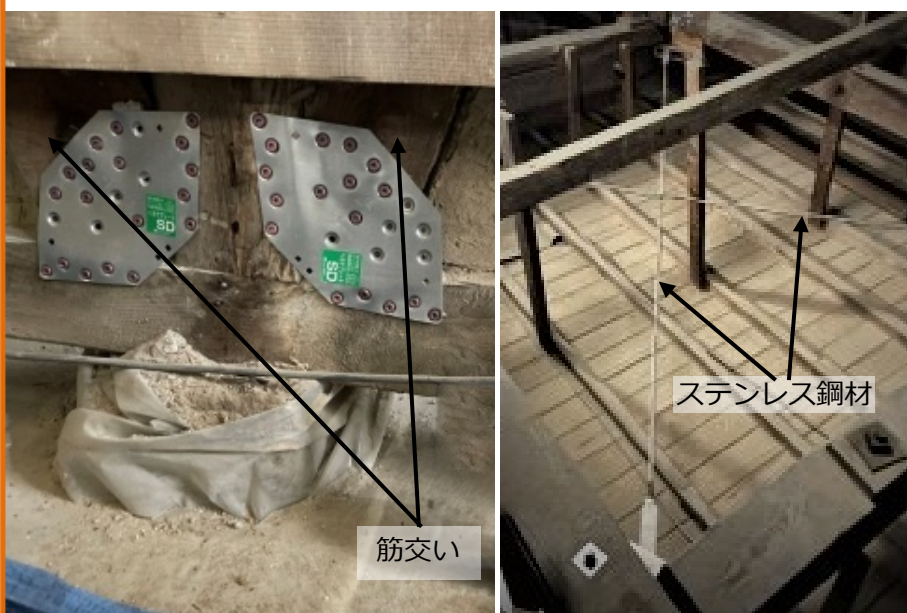
公共建築におけるSDGsに応える取組み ～ 歴史的建築の保存と改修② ～

耐震改修



屋根の軽量化

- ・土の上に瓦が乗る工法→土を使わず直接瓦を下地材に固定する工法で軽量化を行いました。



耐震補強材の設置

- ・状態の悪い土塗壁を筋交い等で補強し、耐震壁を設置しました。
- ・地震の力を建物全体で受け止めることができるよう、天井裏全体にステンレス鋼材を設置しました。



基礎の補強

- ・建物が石の基礎の上にあるため、基礎を補強しました。
- ・昔の石の基礎はそのまま残し、周囲を鉄筋コンクリートで固めました。

文化財の保存改修

既存の瓦材・床材について、撤去一時保管、改修工事後、再度仕上げ材として利用しました。

瓦、屋根



床



明治校舎:木造平屋建て 延べ面積969.72㎡

正門 :石造及び木造

工事費 :419,922,800円

工期 :令和3年11月4日

～ 令和4年12月28日